

第2学年グローバル・スタディ科シラバス

第2学年の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

教科の目標と学校教育目標を達成するために目指す授業

- ・英語でコミュニケーションを楽しむことができる授業
- ・生徒の興味・関心をとらえた授業
- ・ペアワーク・グループワークなど生徒の活動を主体にした授業

学習の仕方

- ◇新出語句や基本文を覚える。
- ◇単語を覚える時は声に出しながら、正しく読む。
- ◇ワークなどの問題集を使って、学習の成果を確認する。
- ◇授業では発話を意欲的に行い、リズムよく読めるように心がける。
- ◇復習など家庭学習を継続的に行い、基礎力を身につける。
- ◇ALTに積極的に話しかけて学習したことを試してみる。

学習を効果的に進めるため、
家庭にお願いしたいこと

- 教科書やノートなどの授業に必要な道具を忘れないように声かけをお願いします。
- 授業の復習や宿題に取り組む姿を見てあげてください。

年間の指導計画

学期	
1学期	PROGRAM 1 Step1 PROGRAM 2 Power-Up1 Step2 PROGRAM 3 Our Project 4
2学期	Reading 1 Power-Up2 PROGRAM 4 Power-Up 3 Step3 PROGRAM 5 PROGRAM 6 Power-Up4 Step4 Our Project5 Reading 2
3学期	PROGRAM 7 PROGRAM 8 Power-Up 5 Step5 Our Project6 Reading 3
授業時数 157時間	

観点別評価と評価の観点、評価方法

◇知識・技能

【知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既習の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価する。】

- ・ペーパーテスト
- ・文章による説明
- ・実際に知識や技能を用いる場面を設ける

◇思考・判断・表現

【知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価する。】

- ・ペーパーテスト
- ・論述やレポートの作成
- ・発表
- ・グループでの話し合い
- ・作品の制作や表現
- ・英語による場面説明

◇主体的に学習に取り組む態度

【知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価する。※単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではない。】

- ・ノートやレポート等における記述
- ・授業中の発言
- ・教師による行動観察
- ・児童生徒による自己評価や相互評価
- ・英語による場面説明